

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | | |
|-----------|---|--|--|
| 1 施設名 | 仙台市サンホーム | | |
| 2 指定管理者 | 特定非営利活動法人グループゆう | | |
| 3 指定期間 | 令和3年4月1日～令和8年3月31日 | | |
| 4 施設の利用状況 | 《利用者数》 ・ 令和3年度 2,715人（前年度比 115%） ・ 令和2年度 2,356人（前年度比 81%） ・ 令和元年度 2,904人（前年度比 120%） | | |
| | 《事業》 ・ 児童発達支援事業 | | |
| 5 収支の状況 | 《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 64,754千円（64,980千円） ・ その他市が負担した費用 752千円（2,445千円） 《収入》 ・ 使用料収入 33,389千円（28,883千円） ・ その他収入 0千円（0千円） | | |
| | （ ）は前年度決算額 | | |
| 6 利用者の声 | 《実施状況》 ・ 令和4年2月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。 | | |

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

| 評価分野 | 所見 | 評価 |
|----------------|---|-------|
| I 総則 | 施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。 | 42/42 |
| II 施設の運営管理体制 | 事業計画に基づいた運営がなされている。 法人全体で毎年度当初に研修を行うなど個人情報保護の取り組みを推進している。 各種マニュアルの整備や、毎月の避難訓練の実施など、利用者の安全に配慮した運営に努めている。 | 24/24 |
| III 施設・設備の維持管理 | 施設・設備は適正に管理されており、利用者が快適かつ安全に利用できる環境整備に努めている。 使用後は速やかに消灯、空調設備を切るようにするなど、環境に配慮した取り組みを積極的に行っている。 | 24/24 |
| IV サービスの質の向上 | サービス水準を確保するため、定期的なミーティングや職員会議・研修等により情報共有に努めているほか、新人育成においては、メンター制度を導入するなど、人材育成にも力を入れており、職員全体でサービス水準の向上を目指している。 事業者独自での利用者アンケートを学期の節目や行事の都度実施し、運営に対し常に改善を心掛けている。 また、地域の保護者や子育て機関からの相談対応についても、相談者が気軽に相談しやすいよう、一定の曜日に相談窓口を設定し、相談員がいつでも電話を受けられるよう体制を整えている。 | 27/27 |
| V 施設固有の基準 | 個別支援計画を詳細に作成し、利用者個々の特性に応じた支援の提供を心掛けているほか、2カ月に1回保健だよりを発行し、利用者の健康管理に配慮した取り組みを積極的に行っている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。 | 4/4 |

三 評価総括

| 《指定管理者（特定非営利活動法人グループゆう）による自己評価》 |
|--|
| <p>1. 安全・安心な環境としては、①新型コロナウイルス感染対策の強化（換気・消毒の徹底・職員の定期的抗原検査と計画的ワクチン接種・CO2モニターの設置）、感染時の組織内ルールの徹底（ゾーニング・汚染場所の消毒・連絡調整・スタッフ役割の明確化）、②専門的視点からの防犯対策の再検討（侵入リスク点検・さすまたや防犯フィルム等の整備・護身術等防犯訓練）、③災害時対策の強化（連絡調整体制の整備・防災用スリッパや医ケア用発電機の常備）に取り組んだ。</p> <p>2. 発達支援としては、①個別療育と連動した事例検討の方法（シートを用いたGW）を工夫した。②有機的な連携をめざし北部アールとの会議（課題の共有と連動性のある療育支援のあり方）を開催した。</p> <p>3. 保護者支援としては、①公認心理師による保護者支援（多様な保護者の前向きな子育てや精神的安定）や、②兄弟児が抱えやすい課題（寂しさ・孤立感・自責感等）を勘案し、兄弟児支援の工夫を試みた。</p> <p>4. 地域支援としては、①卒園児家族の継続支援が移行先のバックアップ機能を果たした。②保育所等の訪問支援では、主訴に応じた職種（作業療法士や成人期担当のスタッフ等）の派遣等、チームアプローチを実施した。③基幹保育所（園）との協働事業の拡大と定着によりネットワークが深まった。④実践的な地域支援セミナーを通して、地域力アップに貢献した。⑤新規事業ペアレントプログラムや併設児童館とのケースカンファレンスの参画により支援の裾野が広がった。</p> <p>5. その他、人材育成面では、①新人や実習生の教育プログラムの整備、②キャリアラダーのブラッシュアップ、③リーダー職員の活性化（虐待予防委員会や法人内基盤整備）に取り組んだ。組織内運営では、①保護者勉強会冊子の作成、②卒園児保護者のボランティア活動により業務の効率化を図った。</p> <p>以上、新たなチャレンジにより支援の幅と量が拡大した。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
|---|------|
| <p>令和3年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>児童の障害特性に応じた療育を工夫して行っており、同法人で成人施設を運営している経験を生かし、子どもの将来を見据えた支援の提供に努めている。保護者勉強会を定期的に開催し、児童の進路についても相談しやすい体制を整えるなど、家族支援の充実に取り組んでいる。</p> <p>また、卒園児の進路先に訪問し、進路先の職員と情報共有を行ったり、合築の児童館のほか、近隣の子育て支援センターなど、地域の施設との交流・連携促進を図り、地域の療育機関としての役割を果たすための取り組みを積極的に行っている。</p> <p>以上により、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。</p> | S |

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

| 特記事項 |
|------|
| |

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課